

第二十三篇

原文部分：

吉川英治の背中哲学

地球が球形なのは誰でも知っている。それを踏まえて、自分の目で見ると一番遠いところにあるものは何か？答えは自分の背中だという。地球一周4万キロのかなた。むろん冗談だが一端の真理はある。自分の「背中」ほど見えにくいものはない。

背中とは、その人の無意識がただよっているような、不思議な場所だ。きょうが没して50年の作家吉川英治に「背中哲学」という随筆があって、「どんなに豪快に笑い、磊落を装っていても、その背中を見ると、安心があるかないかわかる気がする」と書いている。

顔と背中が、二つの仮面を合わせたように違う人もいるという。正面は取り繕えるが裏は隠せないものらしい。「宮本武蔵」や「新・平家物語」などを世に送り、大衆小説を国民文学にまで高めた大作家は、さすがに人間通だ。

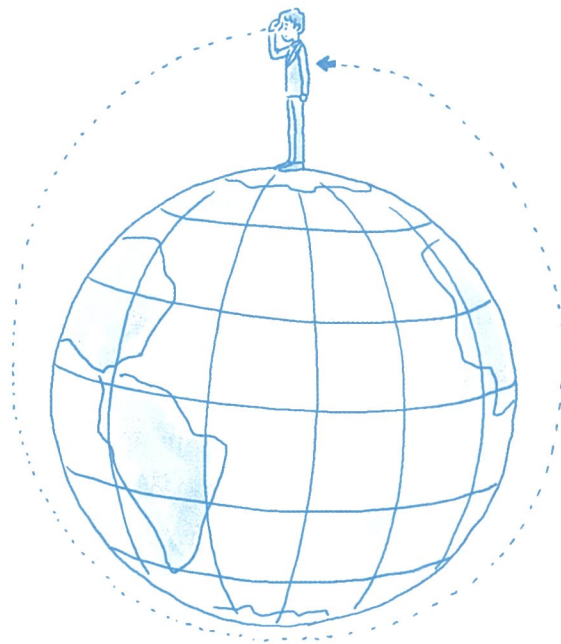
「40歳を過ぎたら自分の顔に責任を持たねばならない」はり

ンカーンだが、「顔」は「背中」にも置き換えられよう。目標にしたい後ろ姿が職場にあれば若手は育つ。子は親の顔色をうかがうが、背中では黙って見ているものだ。

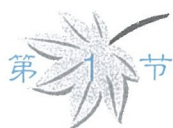
東京・下町の銭湯で半世紀、お客の背中を流してきた人が、3年前に本紙にこう話していた。「黙って苦勞を語っているような背中ってあるんだ。ごくろうさん、て声をかけたくなるよね」。

さて、世間を眺めれば、「選挙の顔」選びに政界が騒がしい。見てくれに惑わされず、どの人、どの政党の背中が偽りないかを見極めたいものだ。昭和の文豪の慧眼にあやかりながら。

2012年9月7日



学习部分:



吉川英治の背中哲学

地球が球形なのは誰でも知っている。それを踏まえて、自分の目で見て一番遠いところにあるものは何か①？答えは自分の背中だという。地球一周4万キロのかなた②。もちろん冗談だが一端の真理はある③。自分の「背中」ほど見えにくいものはない。

背中とは、その人の無意識がただよっているような、不思議な場所だ。きょうが没して50年の作家吉川英治に「背中哲学」という随筆があつて、「どんなに豪快に笑い、磊落を装っていても、その背中を見ると、安心があるかないかわかる気がする」と書いている。



译文

吉川英治的“后背哲学”

谁都知道地球是球形状的。据此，试问用自己的眼睛能看到最远处的物体是什么？据说，答案是自己的后背，绕地球一周遥遥4万公里呢。当然，这只不过是开玩笑，但也有一定的道理。没有比自己的“后背”更难看到的地方了。

所谓“后背”，是一个人不可思议的、显示“无意识”的地方。今天恰逢作家吉川英治（1892-1962）逝世50周年，他有一篇题为《后背哲学》的随笔，其中写道：“无论笑得多么爽朗和装得如何磊落光明，但只要看看他的后背，就可以感觉到此人是否真的无忧无虑（直译：是否有安心感）。”

- ① **注解** 「それを踏まえて」不能译作“站在其上”、“站在地球上”，因为它不是这个意思，而是指“据此”，即以地球是球形状为前提（「地球が球形であることを踏まえて」）。
- ② **注解** 这句是说由于地球是圆的，那么绕了一周之后的终点就是自己的后背了。为谐谑说法。
- ③ **注解** 「一端」指一部分，「一端の真理はある」指有一定的道理。（参阅生词的释义和例句。）另外，日语的「真理」既与汉语的“真理”同义，另还含有“道理”之意，如：「この話には一面の真理がある」（这番话有一定的道理）。



生词&例句

【踏まえる】（1）踩；踏。（2）根据；按照。

<例句> ● 大地を踏まえる。⇒ 脚踏大地。

● 揺れている甲板をしっかりと踏まえた。⇒ 稳稳地踩在摇摇晃晃的甲板上。

● 事実を踏まえて。⇒ 根据事实。

- これは最新の学説を踏まえた社会史である。⇒ 这是根据最新学说编写的社会史。

【かなた】^{かなた}【彼方】 那边。

<例句> ●山のかなた。⇒ 山的那边。

- 海のかなたに。⇒ 在海的那边。在海外。

【一端】^{いったん} (1) 一端；一头。(2) 一部分；一面。

<例句> ●机の一端を持ち上げる。⇒ 抬起桌子的一头(一端)。

- 見解の一端を述べる。⇒ 讲述部分见解。
- 問題の一端にふれる。⇒ 涉及问题的一面。

【ただよう】^{ただよ}【漂う】 (1) 飘荡；漂浮。(2) 洋溢；充满。(3) 露出。

<例句> ●木の葉が水面にただよう。⇒ 树叶漂浮在水面上。

- 彼の詩には甘い哀愁が漂っている。⇒ 他的诗里洋溢着甘甜的哀愁。
- 口もとに微笑がただよう。⇒ 嘴边露着微笑。

【没する】^{ぼつ} (1) 沉没。(2) 死亡。

<例句> ●船が水中に没する。⇒ 船沉入水中。

- 42歳で没した。⇒ 42岁去世。

【磊落】^{らいらく} 磊落；大度；豪爽；胸襟开阔。

<例句> ●磊落な性格。⇒ 豪爽磊落的性格。

- 豪放磊落な人。⇒ 大度豪爽的人。

【装う】^{よそお} (1) 打扮；穿戴。(2) 假装；伪装。

<例句> ●美しく装った娘。⇒ 打扮得很漂亮的姑娘。

- 客を装ってどろぼうに入る。⇒ 伪装客人，潜入行窃。

顔と背中が、二つの仮面を合わせたように違う人もいるという④。正面は取り繕えるが裏は隠せないものらしい。「宮本武蔵」や「新・平家物語」などを世に送り、大衆小説を国民文学にまで高めた大作家は、さすがに人間通だ⑤。

「40歳を過ぎたら自分の顔に責任を持たねばならない」はリンカーンだが⑥、「顔」は「背中」にも置き換えられよう。目標にしたい後ろ姿が職場にあれば若手は育つ。子は親の顔色をうかがうが、背中は黙って見ているものだ⑦。



译文

据（吉川英治）说，有些人的脸部和背部如同套上了两个不同的假面具一样：正面可以掩饰，而背面却难以遮掩。他给世人献上了《宫本武藏》和《新平家物语》等小说，是位把大众小说提升至国民文学高度的大作家，不愧是洞悉人类秉性的高手。

虽然林肯（1809—1865）说过：“过了40岁之后，必须对自己的面孔负责”，但在此也可以把“面孔”换成“后背”吧。如果年轻人在工作单位有可以学习的榜样（直译：背影），那他就会茁壮成长。孩子虽会看着父母的脸色行事，但同时也会默默地注视着他们的后背——父行子效嘛。



- ④ **注解** 这句是紧接上一段的最后一句而来。所以,「という」指吉川英治所说。
- ⑤ **注解** 「人間通」本来指通过对他人的察言观色能很快对此人作出正确的判断或反应的人。(人間通とは相手の考えをいち早く察知し、それに対応できる人間力のこと。)在这里是意译。
- ⑥ **注解** 林肯此句的英语原文是:“Every man over 40 is responsible for his face.”(每个40岁以上的男人必须对其面孔负责。)
- ⑦ **注解** 「背中」指父母的后背。这是说,孩子的成长会受父母一举一动的影响。译文中的“父行子效嘛”为加译(原文没有),这是为了使汉语译句的意思更加完整。日语有这么一句谚语:「子は親の背中を見て育つ」(直译:孩子看着父母的后背成长。意译:有其父必有其子;见子知其父)。本段的最后两句是模仿此谚语写出来的,这样使人看后印象更深。



生词&例句

【仮面^{かめん}】 假脸; 假面具。

- <例句> ● 仮面を脱ぐ。⇒ 脱下假面具。露出真面目。
● 善人の仮面をかぶる。⇒ 戴着伪善的面具。

【合わせる^あ】 合在一起; 对上。 **【注意】** 此词有多个义项, 这里仅取了与文中意义相符的义项。

- <例句> ● 両手を合わせて拝む。⇒ 合掌礼拜。

- まず両端をぴったり合わせて、二つに折ってください。⇒ 先把两个角对齐，然后叠成两折。

【^と取り繕^{つくろ}う】(1) 缝补；修补。(2) 掩饰；遮掩。【注意】文中的「取り繕える」为可能态。

<例句> ●服の破れを取り繕う。⇒ 缝补衣服的破绽。

- 欠点を取り繕う。⇒ 掩饰缺点。
- 失敗を取り繕う。⇒ 掩饰失败。

【^{さすが}さすが】【^{流石}流石】不愧；到底是；的确；果然。

<例句> ●さすがはきみだ、よくやった。⇒ 不愧是你，干得好！

- 海南島はさすがに暑い。⇒ 海南岛确实热。
- この寒さにはさすがに参った。⇒ 这个冷劲儿的确受不了。

【^お置き換^かえる】【^お置き替^かえる】(1) 换位置；移到。(2) 替换；置换。

<例句> ●部屋の中の家具を置き換える。⇒ 把房间里的家具换一下位置。

- わかりやすい言葉に置き換えて説明する。⇒ 换成简单易懂的话予以说明。

【^{そだ}育^つつ】成长；生长。

<例句> ●若手選手が育つ。⇒ 年轻选手茁壮成长。

- この鉢植えは日陰でもよく育つ。⇒ 这个盆景在背阴处也能长得好。

【^{うかが}うかがう】【^{うかが}伺^うう】观察；看出。【注意】此词有多个义项，这

里仅取了与文中意义相符的义项。

<例句> ● 天下の大勢をうかがう。⇒ 观察天下大势。

● その一端から全体をうかがう。⇒ 借一斑而窥全豹。

● 彼の話から、その学識の深いことがうかがわれた。

⇒ 从其谈话中可以看出他的学识很渊博。

第 3 节

東京・下町の銭湯で半世紀、お客の背中を流してきた人が、3年前に本紙にこう話していた⑧。「黙って苦勞を語っているような背中ってあるんだ。ごくろうさん、て声をかけたくなるよね」⑨。

さて、世間を眺めれば、「選挙の顔」選びに政界が騒がしい。見てくれに惑わされず、どの人、どの政党の背中が偽りないかを見極めたいものだ⑩。昭和の文豪の慧眼にあやかりながら⑪。



译文

半个世纪以来，一位一直在东京平民区的澡堂里给洗澡客搓洗后背的员工（直译：人）3年前接受了本报的采访，他说（直译：他曾这样对本报说）：“有些（洗澡客的）后背好像在默默地诉说着自己的辛劳。我真想对他们道一声‘辛苦了！’”

再来看看当今社会，政界为了选议员（直译：选举的

脸)正闹得喧嚣不已。我们(投票人)不要被他们“看看吧”的呼喊声所迷惑,而要像昭和时代的大文豪那样慧眼识人:什么人,什么政党,到底有没有虚假的成分(直译:什么人、什么政党的后背有没有假)?

⑧ **注解** 注意「下町」不是地名,而是指都市中的平民区或小工商业者集中居住的地区。在此如译为“东京的下町澡堂”就不对了。译文中的“接受了本报的采访”为意译。实际上,不但有采访,而且还登了报。

⑨ **注解** 「ごくろうさん、て声をかけたくなるよね」中的「て」相当于「と」,起引用作用,为口语体。

⑩ **注解** 「見てくれ」是「見てくれる」的命令形,意思是“看看吧!”「見てくれに惑わされず」含有“我们投票人要好好看,好好辨别,不要被假面具所迷惑”的意思在里面。「どの人、どの政党の背中が偽りないか」指要看这些被选举的人和政党是否真诚可靠。

⑪ **注解** 「昭和の文豪」指吉川英治。



生词&例句

したまち
【下町】平民区;小工商业者居住区。

<例句> ● 下町言葉。⇒ 庶民的语言。

● 私は東京の下町に住んでいる。⇒ 我住在东京的平民区。

せんとう
【銭湯】澡堂;公共浴池。

<例句> ● 銭湯へ行く。⇒ 到澡堂去洗澡。

【流す】^{なが} 冲洗；洗掉（污垢）。**【注意】** 此词有多个义项，这里仅取了与文中意义相符的义项。

<例句> ● 祖父の背中を流す。⇒ 给爷爷搓背。

● ひと風呂浴びて汗を流す。⇒ 洗个澡冲掉汗水。

【世間】^{せけん} 社会；人世；世间。

<例句> ● 世間に広まる。⇒ 传遍社会。

● こんな所で会うとは世間も狭いね。⇒ 没想到会在这里碰上，这世界也真小呀。

【眺める】^{なが} (1) 眺望；远眺。(2) 注视；凝视。

<例句> ● 窓から景色を眺める。⇒ 眺望窗外的景色。

● あいつはいつもそばで眺めているだけだ。⇒ 那家伙总是站在边上盯着看。

【騒がしい】^{さわ} (1) 吵闹；喧闹。(2) 骚然；议论纷纷。

<例句> ● まわりが騒がしくてよく聞こえない。⇒ 周围很吵，听不清楚。

● 世の中が騒がしい。⇒ 举世骚然。群情鼎沸。社会上议论纷纷。

【惑わす】^{まど} 迷惑；诱惑；蛊惑。**【注意】** 文中的「惑わされず」为被动否定形。

<例句> ● 外見に惑わされる。⇒ 为外表所惑。

● 青少年を惑わす本。⇒ 诱惑青少年的书。

【偽る】^{いつわ} (1) 说谎；歪曲。(2) 假装；冒充。(3) 欺骗；哄骗。

<例句> ● 事実を偽る。⇒ 歪曲事实。

● 病氣と偽る。⇒ 装病。

● 偽って金を取る。⇒ 骗取金钱。

【^{いつわ}偽り】(1) 假。(2) 谎言。【注意】此词为名词。

- <例句> ● 偽りの繁栄。⇒ 假繁荣。
 ● 偽りを言う。⇒ 撒谎。
 ● 看板に偽りあり。⇒ 招牌上有假。

【^{みきわ}見極める】看清；弄清；分清。

- <例句> ● 結果を見極める。⇒ 看清结果。
 ● 真相を見極める。⇒ 弄清真相。

【あやかる】相似；效仿；跟着沾光。

- <例句> ● きみにあやかりたいものだね。⇒ 我真羡慕你（如此幸福）！
 ● 彼にあやかって字がうまくなりたい。⇒ 但愿能像他那样写一手好字。

日语难读词之角

- 土砂（どしゃ）：沙土。
トンネル内で土砂崩れが起きた。⇒ 隧道里发生了塌方。
- 風情（ふぜい）：情趣；风格。
小雨が風情を添える。⇒ 小雨平添情趣。
- 怖気（おじけ）：害怕；恐惧；胆怯。
すっかり怖気をふるってしまった。⇒ 吓得要死。吓得发抖。